



7月1日(水)

こども園で描く絵は、上手に描くことが目的ではありません。子どもの絵からは、発達段階や個性、どんな思いで描いたか、読み解くことができます。

～**子どもの絵の見方におけるポイント**～

☆近づいて見る～細部から子どもの行動を読み取ることができます。それぞれ意味があります。

☆順番をたどる～絵を描く順番に注目することで、子どもの思考の流れを理解することができます。

☆その子の理由を考える～なぜその色を選んだのか、なぜそのように描いたのか、子どもの視点に立って理由を想像してみると、子どもの思いがよくわかります。

☆発達段階を考慮する～年齢や発達段階によって変化します。3歳児と5歳児の絵を比べるとよくわかります。

☆押し付けない～大人の絵とは異なる魅力や表現があります。子どもの自由な表現を尊重する。

☆子どもなりの表現を認める～子どもの表現活動そのものに価値があります。絵を描くことを嫌いにしてはなりません。なぜ廊下に掲示するか？子どもの表現を認め喜びを共有するためです。

似顔絵は似てなくてもいい！

7月2日(水)

訓中2年生から「総合的な学習(職場訪問)」の協力のお礼が届きました。



拝啓 向暑の候 わくわく園の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。この度は、ご多用な時期に私たちの職場体験訪問をお受けいただき本当にありがとうございました。当日は、5歳児がダンスや組体操をすごく上手にやられていて、かけ声もすごく元気だったのが、とても印象に残りました。

今回の取組で、将来私たちが社会に出て働くために必要なことを考えることができました。この貴重な経験を今後の活動や卒業後の進路に向けて生かしていきたいと思います。簡単ですが、お礼とさせていただきます。 敬 具

幼児施設育所(幼稚園、こども園、保育所)の先生(幼稚園教諭、保育教諭、保育士)は、小さいころからの夢を叶えた人たちです。うちの園にも職場体験に中・高校生は多くきます。また、教育実習生も毎年受け入れています。保育者になりたいと思った理由は、「子どもが好きだから、幼稚園の時の先生への憧れからです。」と言います。保育士や幼稚園の先生は、小中学校の教員希望者よりずっと多いです。ところが実習生は、朝からずっと働き詰めで、休み時間などなく、子どもたちが帰った後は、パソコンに向かっている先生方を見て、「こんなに仕事があるのですか？」と驚きます。それでも「やりがい」のある職業なのです。

「ラクをして仕事をしたい」と安易に考える学生もいます。給料が高く、趣味を大切にしたいから、休みが多い方がいい。しかし、ラクをして仕事ができるところなどありません。仕事だから、時には辛い思いをすることもあるのです。「〇〇をしたいから、この仕事を選んだ」という意識と意欲をしっかりと持つ

てほしいものです。

7月3日(木)

参 観 日

保護者がこども園での普段の保育の様子を参観し、子どもの成長を間近で見ることが出来ます。また、先生の指導方針や教育内容を理解する機会にもなります。

○子どもの園での様子を直接見て、お子さんの成長を実感することができたでしょうか？

○家とは違うこども園での様子を見ることができたでしょうか？

○先生と連携を深めることができたでしょうか？

○他の保護者さんと交流はできたでしょうか？



*参観中は、携帯電話の使用は控え、子どもの様子を写真や動画の撮影はお控えください。

*参観日を通して、子どもの成長と一緒に喜び、先生との連携を深め、より良いこども園生活を送れるようにしましょう。

3歳児の参観日は、お父さん方の参加が多くありました。

むかし、小学校では「父親参観日」がありました。そうでもしないとお父さんが学校に来ることがなかったのです。とても良い傾向

です。子育ては、お母さん任せにする時代ではありません。これからもよろしくお願いします

7月7日(月)

7月4日 19:00~20:00 育友会親睦ゲーム大会

すみません！ 赤ちゃんのあやしていて写真を撮っていません。

保護者 17 名（内 3 名は本園職員）先生 17 名合計 34 名の参加がありました。少し寂しい感じでしたが、3つのゲームを楽しみました。

「**キンボール**」(カナダ発祥のニュースポーツで、直径122cm、重さ約1kgの大きなボール(オムニキシ)を使い、3チーム同時にプレーする競技です。参加した人に、その楽しさを聞いてみてください。その他、ジェスチャーゲーム、絵スチャーゲームを3チームに分かれて得点を競いました。約1時間、涼しい遊戯室で心地よい汗をかきながら親睦を深めました。親睦がメインでしたが、参加者は皆、真剣勝負に徹し盛り上がりました。

レク部の皆さんには、準備、運営と大変お世話になりました。案内、集約、準備、内容検討とけっこう時間がかかります。この行事には、ケガをしたときのために保険をかけています。保護者のニーズも変わってきていることから、参加者が増えるような内容にする検討が必要かも知れません。

‘お疲れ様でした’ 赤ちゃん連れでも OK

熱中症注意！ 昨日と今日と 35℃猛暑日です。

こんなときは、涼しい部屋の中でおとなしく過ごします。

それでも体力は消耗します。いっぱい食べて、いっぱい寝て、明日もまた元気で来てください！

10日(木)は急に気温が下がります？



7月8日(火)

「イクメン」から「共育」(トモイク)へ

厚生労働省は、男性の育児休業取得率を高めるために進めてきた「イクメンプロジェクト」を「共育(トモイク)プロジェクト」に刷新すると発表しました。

育休取得のさらなる促進に加え、夫婦間での家事・育児負担の見直しに向けた機運を高めるのがねらいです。

男性の育休取得率は、2010年：10%台でしたが、2023年には30%まで上昇しました。しかし、女性の取得率84%との差はまだ大きいままです。これまでは男性が「育児を手伝う」というイメージでしたが、この考えを払拭して、これからは夫婦で共に育て、男性も家事をする「脱ワンオペ育児」を実現していくとしています。（＊ワンオペ＝複数で担当する業務を一人ですること）

最近、お父さんによる送迎、参観日や行事の参加が増えてきています。「脱ワンオペ育児」は、子育て世代の若い夫婦だけの問題ではありません。老夫婦にも適応されます。「一人になったら、どうするの？ 何にもできないんだから…。」と言われ家事をやらされています。

「お父さん、がんばってネ！」



暑い！ 3日連続の30℃超え！ 昨日は外での活動を控えましたが、今日は午前中1時間だけ、日陰で水遊びをしました。涼しい保育室では、2歳児が新聞紙を使った遊び（ちぎった新聞紙のプール）新聞紙シャワーに夢中でした。ちゃんとお片付けもしました。

7月9日(水) **みんなおいでよ！なつかしWEEK**

8月4～8日 **開園10年記念イベント ポスター掲示**

町内の小中学校、公共施設に右のポスターを掲示しました。

＊中学3年生までの児童・生徒の皆さんが対象になります。

＊詳しくは、ポスターをご覧ください。



家庭力を見直す 子育てを社会全体で担うようになって、やっぱり子育ては「家庭」です。

家庭の5つの力



愛の力～家庭は親から子に愛情を注ぐ場

経済の力～家庭は健康で文化的な生活を子どもに提供するために親は働く

躾の力～礼儀作法や規範意識を教え身に付けさせる

文化の力～親子の触れ合いこそが家庭の文化

人格の力～地道に働いて親が仲良く飾らない姿を示す

他にもある「5つの力」… 子どもの成長と自立を促すために家庭で育むべき重要な力は、

◆「見る力」（周囲を注意深く見る）◆「聞く力」（相手の話を注意深く聞く）◆「考える力」（論理的に思考し、判断する）◆「話す力」（考えや気持ちを明確に言葉で表現する）◆「行動する力」積極的に行動し、目標に向かって努力する）

＊これらの力は、何か特別なことをすることではなく、家庭での日々の生活の中で親子のコミュニケーションや体験を通じて育まれます。

7月10日（木）

“あらためて 人は 人によって 人となる”

成長過程にある子どもたちは、「その時、その場で出会った人の姿」によって様々な影響を受けるものです。「学校やこども園という場」は、校長先生、教頭先生や教師、事務職員、給食調理員、用務員さんなど多くの出会いの場です。「あの時の、あの人のあのひと言」が、その後の自分の生き方に影響を与えているという実感は数多くあります。



こども園の先生になった人のほとんどは、保育所、幼稚園の時の先生への憧れです。「泣いていたら、〇〇先生

が傍にきて、『どうしたの?』と優しく抱っこしてくれた。私も〇〇先生みたいなこども園の先生になりたい。」教育実習に来ていた学生が話していました。

学校の先生もそうです。ところが教員採用試験を受ける学生が激減しています。憧れの先生が少なくなったのでしょうか。「お世話になった小学校の時の〇〇先生に会いたい。」と言った保護者さんがいました。先生冥利に尽きます。先生自身がもっと頑張らなければなりません。

コットの効果? 5歳児の参観日で、『ふとんからコットに変わって、背中のアセモが消えました!』と言われました。」と担任から報告を受けました。1台1万円以上して総額100万円を超えましたが、さっそく教育長さんに「おかげさまで、アトピーが消えた子もいます。また、エアコンのおかげで、この猛暑も快適に過ごしていま」と報告に行きました。

7月11日(金)

子どもの容姿は親に似ますが、話し方や考え方、食生活も似るものです。**「子は親の鏡」**

千住家芸術家3兄妹

「千住家の教育白書」(千住文子氏による本)

～子どもは親のモノではない。将来どんなことをやっても自由なんだ。夫の励ましを胸に、母は子どもたちと本気で向き合った。それぞれの豊かな感性に時に戸惑いながらも、同じ目線で感動を分かち合い、悩み、悲しみ共に喜ぶ。やがて長男博は滝の絵で有名な日本画家に、次男：明は作曲家(大河ドラマや映画音楽など作品多数)、そして娘真理子は、世界的に有名なバイオリストに自らの道を見出していた。～ ◆父親の鎮雄は慶応義塾大学名誉教授(工学博士)、母：文子はエッセイスト。◆こんな家族や兄妹は稀です。しかし、子どもは親のモノではなく、どんなことをやっても自由、本気で向き合い、同じ目線で感動を分かち合うことが大事です。

***娘が言いました。「ハシもママも偉くないから、私は無理!」**

雑草(たんぽぽ) 猛暑で芝が弱って茶色になっても、雑草とくにタンポポは青々としています。中庭は裸足で遊ぶので、安全のため雑草を取り除かなければなりません。これまで30℃超えの日が続いていたので、できなかったのですが、昨日気温が下がったので、先生方で雑草抜きをしました。

「雑草のように逆境にも負けずたくましく生きる。それとも、人によっては邪魔で不要な雑草のようにはなりたくない。」という人もいる。◆世の中に雑草という名の草はない。みんな名前が付いている。

(植物学者：牧野富太郎)

7月14日(月) 《シリーズ「いきいき子育て」》 **～礼儀～**

「みっともない、はずかしいでしょ!行儀よく食べなさい。」「笑われますよ、礼儀知らずと思われるでしょ!」これは、日本人の親が、レストランで子どもに話している言葉です。

「やめなさい。隣の人が、いやな思いをしますから、礼儀正しくしなさい。」「他の人に迷惑をかけるようなことはしてはいけません。」「食事のマナーを守りなさい。」「これはイギリス人の親が子どもに話す言葉です。日本人とイギリス人では、注意する言葉が違ってきます。日本人は、笑われてはいけません。イギリス人は、他の人の心をいやな思いにしてはいけません。ということになります。注意の仕方は違っても「周りの人に不愉快な思いをさせない。」ということでは同じです。

礼儀正しくすることは、教養が高くなり、しつけが行き届いたときにできるものです。まずは約束事を知らなければなりません。子どもの頃から、一つ一つ約束を覚えて、大人になるまでに全部覚え、それを日常生活の中で正しく実行するようする。それは家庭の役目です。

